

燈燈燈

侑佳

作詞：久遠龍史・岩田麻早見 | 作曲：久遠龍史 | 編曲：田浦莉子

吐き出すような感情抱え
立ち止まると壊れそうで
怒りさえ 覚えてく

忘れてしまいたい存在
息をするだけで苦しくて
降り頻る夜に駆け出した

雨の夜空を見上げて
涙をごまかしても
生きろと聴こえるのはなぜ

幾千の瞳達が
時空（とき）を越え
寄り添っていた
どんな時も
「負けるな」って
いつも一人じゃないって

諦められる程
今のこの世界は
当たり前じゃない

何度も温もりを分かち合い
信じて辿り着いたはず
裏切りの愛が痛い

良い事なんてない人生
唇噛み締めて震えた
全てが暗闇で走り出した

走りきれなくて
膝を付いて諦めて
終わりじゃないと囁くのはだれ

幾千の命達が
今の未来を
紡いでいた
逃げ出さないで
「信じてる」って
進む道照らすからって

投げ出せる程
簡単な魂じゃない
一人だけの道じゃない

この地に身を委ねて
両手で胸を抱きしめ
耳を澄ました時
感じてくる

幾千の瞳達が
時空（とき）を越え
寄り添っていた
どんな時も
「負けるな」って
いつも一人じゃないって

幾千の命達が
今の未来を紡いでいた
逃げ出さないで
「信じてる」って
進む道照らすからって

諦められる程
今のこの世界は
当たり前じゃない
一人だけの道じゃない
踏み出せばほら未来へ